

武蔵工業大学後援会誌

Mi-com

No. 18

1998-7



春、5月、体育祭。

多くの競技に若人のエネルギーがキャンパスを揺るがす

そして、また一つ友情の輪が……♡

(世田谷キャンパスにて)

後援会創設10周年を迎えて



武蔵工業大学 後援会会長
黒崎 浩

10年ひと昔と申しますが、我が武蔵工業大学後援会も、今年創設10周年を迎えました。これを記念して、去る5月23日の平成10年度武蔵工業大学後援会評議員会終了

後に、メモリアルホールに於いて「後援会創設10周年記念祝賀会」を開催しました。

当日は、五島育英会より堀江理事長、大学側より古浜学長をはじめ、工学部及び環境情報学部教職員の方々、学生団体代表者、並びに後援会からは金原初代会長、飯田二代会長をはじめ、役員OBの方々など57名の来賓のご出席をいただき、大変盛大な祝賀会となりました。

特に後援会創設時の学生部長であった佐藤三緑先生より、後援会の発足準備から立上げに至る涙ぐましいご苦労話が、皆さんに披

露された時は、一同、うなづき、笑い、感心しつつ先輩方の並々ならぬご盡力に、唯々敬服した次第です。

現在、後援会の会員数は4,303名で、加入率は80%弱であります。ご承知のように後援会の主目的は、大学の正課外活動を側面から支援することであり、文化・スポーツ等各クラブ活動への支援を続けておりますが、今年度からは、支援の対象を正規のクラブ活動だけでなく、新たに同好会に対しても、一定のルールを定めて支援の枠を広げることになりました。これより、学生諸君のキャンパス生活が、より広く、より楽しく、充実したものになるものと大いに期待しております。

われわれ後援会は、今後とも大学の基本方針に沿って、学生部の先生方と協力しながら、次の「20周年記念」を一層充実した内容で迎えられよう頑張っておりたいと思いますので、全国会員の皆様におかれましても、何卒宜しくご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



平成10年度 評議員会が開催される

武蔵工業大学後援会の平成10年度評議委員会が平成10年5月23日(土)午後2時45分から世田谷キャンパス3号館311教室において役員、評議員87名(委任出席8名)の出席のもとに開催されました。

評議委員会は黒崎浩会長の開会の挨拶で始まり、役員および今年度新しく評議員に就任された20名の方々が紹介された後、議事に入りました。議事は事務局から第1号議案から各議案ごとに提案説明され、その後、この説明にもとづいて審議され採決の結果、次の議案が原案の通り可決、承認されました。

なお、本年度は後援会創設10周年にあたりますので、評議委員会終了後、大学教職員、歴代の後援会役員および学生代表者等をお招きして記念祝賀会を五島記念館メモリアルホールにおいて行いました。



▲受付風景



▲議長の黒崎会長と海老原学生部長



▲審議風景

武蔵工業大学後援会 平成10年度評議員会

平成10年5月23日(土)
世田谷キャンパス311教室
(五島記念館1階)

1. 開会の辞 —黒崎会長—

2. 報告事項

平成10年度後援会入会者数及び会員数について

3. 議 事

- 第1号議案 平成9年度 事業報告について
- 第2号議案 平成9年度 決算報告について
- 第3号議案 平成10年度 事業計画(案)について
- 第4号議案 平成10年度 予算(案)について
- 第5号議案 平成10年度 役員候補者について

4. そ の 他

5. 閉会の辞 —五艘副会長—



▲後援会創設10周年記念祝賀会で表彰を受ける、
初代会長 金原氏と前会長 飯田氏

【1】事業

1. 正課外教育援助

■主な課外活動への援助

●学生団体連合会への援助

平成9年度、学生団体連合会への課外活動の援助金として1,200万円を援助した。

- 「課外活動に対する補助制度」の一般援助は52件（同好会及び個人含む）となった。

〈主な援助〉

- (1) 体育会本部に対し、本部創設35周年記念行事として開催した横浜キャンパスにおけるMI-TECH横浜祭の運営費の一部を援助。
- (2) 文化団体連合会本部及び新聞会に対し、傘下団体の統括業務及びネットワーク対応の為のパソコン等の購入費を援助。
- (3) 試合結果が優秀につき活動奨励補助としてバスケット部、バドミントン部、アイスホッケー部に対して援助。
- (4) ラグビー部、水泳部及び機親会に対して、全国大会への出場経費の一部を援助。
- (5) 空手道部の神山千寿さん（経営3年）及び鈴木孔明君（経営2年）の国際松濤館空手道連盟第6回世界大会（イタリア）の出場経費の一部を援助。
- (6) 今年度開学した環境情報学部の学生を中心に結成された学生団体「環境問題研究会」に対し、MI-TECH横浜祭で導入したゴミ削減対策「皿洗いディポジットシステム」活動の運営費の一部を援助。

他。

●学生行事に対する援助

- (1) 学生団体連合会主催の新生歓迎行事（スプリングフェスティバル'97）への援助。
- (2) 体育会主催の体育祭へ援助。
- (3) 文化団体連合会主催のミュージックフェスティバルの運営費を援助。
- (4) テニス系3団体主催による学長杯MI-TECHテニストーナメント大会に対して援助。
- (5) 学生団体連合会主催によるMIT祭の運営資金を援助。

他。

●強化団体指定による援助

平成9年度の強化団体として指定したラグビー部、アメリカンフットボール部及びハンドボール部に対し、チーム強化のための資金を援助。

■学生顕彰

- (1) 大学の課外活動賞（学長賞、学生部長賞、課外活動奨励賞）のうち、課外活動奨励賞を授与し、副賞を贈呈。
- (2) 在学中、課外活動に貢献した学生を選考し、21名に「後援会長賞」を授与・表彰した。

■学生の生活指導に対する援助

- (1) 全学生団体を対象に「救命講習会」の受講を義務付けさせ、その受講費用を援助。（1団体1名を義務付け、69名が参加）
- (2) 学生団体の責任者を対象とした「リーダーズ研修会」の費用の一部を援助。（平成9年12月）
- (3) 学生の生活指導に関わる大学の学生部教職員に対し、冬期屋外用の防寒着を購入・寄付。

2. 「大学と父母との連絡会」への援助と協力

- 全国27会場で開催された「大学と父母との連絡会」の費用の一部を負担。

- 東京及び横浜会場においては黒崎会長が後援会を代表して挨拶。（平成9年9月）地方会場においては、評議員の方々に会の運営等にご協力をいただいた。

3. 大学行事への協力

- 平成9年度入学式に黒崎会長が来賓として出席し祝辞。（平成9年4月）
- 学校法人五島育英会傘下の後援会合同懇親会に黒崎会長、五艘副会長ほかが出席。（平成9年6月）
- 平成9年度課外活動賞授賞式に五艘副会長が出席し、課外活動奨励賞を授与。（平成10年2月）
- 平成9年度学位授与式に黒崎会長が来賓として出席し、「後援会長賞」の授与及び祝辞。（平成10年3月）

4. 学生厚生援助

- 環境情報学部の開学に際し、記念としてモニュメント「風の薫りに魅せられて」を制作し、横浜キャンパスへ寄贈。
- 世田谷キャンパスのAコートテラスへ学生の休息用としてガーデンテーブルセットを寄贈。
- 学生団体の統括本部用として、ミニハウスを購入し、世田谷キャンパス9号館脇に設置し寄贈。

5. 後援会緊急奨学金

- 会員の家計急変により学業の継続が困難な学生に対して授業料相当額(全額又は半額)を貸与する緊急奨学金は、平成9年度は、5名に対し総額303万円を貸与。(平成9年7月、12月)

6. 会誌の発行

- 後援会の会誌「Mi-Com」16号(平成9年9月)、17号(平成10年2月)を刊行し、会員へ送付。

7. マイテック・フレッシュマン・キャンプに対する援助

- 平成9年4月16日・17日(1泊2日)に実施された新入生を対象とした研修行事に対して援助。

8. 入会案内等の送付

- 平成9年度入学者のうち、未入会の父母宛に再度入会案内を送付。(平成9年5月)
- 平成10年1月末までの平成10年度入学手続完了者の父母宛に入会案内を送付。(平成10年2月)
- 平成10年度入学手続の最終締切日までに手続完了の父母宛に入会案内を送付。(平成10年3月)

9. その他

- 学生(会員)等の死去に際し、香典・花環等を供えた。
- 後援会の事務担当者(アルバイト)の採用。(平成9年4月～平成10年3月)
- 大学へ「後援会長賞」の候補者の推薦依頼。

【2】運 営

1. 理事会

平成9年5月10日(土)

- 平成9年度評議員会提出案件の審議。

平成9年11月22日(土)

- 平成9年度の(1)事業経過、(2)入会者数について、(3)「大学と父母との連絡会」の結果などに関する審議。
- 平成10年度の主要会議日程、役員候補者選考、入会案内書送付などに関する審議。なお当日、理事会終了後、顧問の古浜庄一学長のほか、大学関係者との懇談会が行われた。

2. 評議員会

平成9年5月24日(土)

- 平成8年度の事業報告、決算報告および平成9年度の事業計画案、予算案、役員候補者についての審議。
- 後援会会則の変更についての審議。なお、当日は評議員会に先立って、新たにお問い合わせの評議員の方々の学内見学を行い、また評議員会終了後には、大学教職員との懇親会を開催した。

3. 会計監査

平成10年4月18日(土)

- 高橋、原田両会計監査により、平成9年度の会計監査を実施。

●平成10年度 後援会会員数

平成10年5月22日現在

組 織		工 学 部								環境情報学部	
学 科 学 年	機械	機 械 システム	電気 電子	電子 通信	電子 情報	建築	土木	経営	エネルギー 基 礎	環境 情報	合計
1 年 生	(名) 93	(名) 80	(名) 101	(名) 93	(名) 65	(名) 92	(名) 90	(名) 113	(名) 42	(名) 149	(名) 916
2 年 生	106	97	99	100	67	123	90	99	45	172	998
3 年 生	218	—	184	127	—	112	107	120	—	—	868
4 年 生	282	—	211	177	—	142	140	165	—	—	1,117
合 計	699	177	595	497	132	469	427	497	87	321	3,899

組 織		大 学 院						
学 科	機 械	生 産 機 械	電 気	建 築	土 木	経 営	原子力	合 計
学 年								
修・博 合 計	(名) 66	(名) 47	(名) 145	(名) 60	(名) 41	(名) 32	(名) 13	(名) 404

平成9年度 決算書

平成9年4月1日～平成10年3月31日

科 目	平成9年度予算	平成9年度決算	差 異	備 考
(収 入 の 部)	(円)	(円)	(円)	
1.会 費	48,800,000	50,500,000	△1,700,000	●新入生の加入者
2.雑 収 入	900,000	531,550	368,450	●利息収入
3.前 年 度 繰 越 金	27,176,164	27,176,164	0	
収入の合計	76,876,164	78,207,714	△1,331,550	
(支 出 の 部)				
事業費	41,000,000	35,071,612	5,928,388	
4.正 課 外 教 育 援 助 費	26,000,000	21,685,268	4,314,732	※下表の「正課外教育援助費内訳」を参照
5.父 母 連 絡 会 費	3,400,000	2,925,174	474,826	●全国各地で年1回大学と共催
6.大 学 行 事 協 力 費	2,000,000	1,083,500	916,500	●体育祭、MIT祭(学園祭)等
7.学 生 厚 生 援 助 費	1,500,000	1,543,920	△43,920	●厚生設備等への援助(9号館・18号館等)
8.奨 学 資 金 費	3,000,000	3,030,000	△30,000	●緊急奨学金
9.会 報 発 行 費	3,000,000	2,703,750	296,250	●後援会広報誌の作成(2回)
10.新 入 生 研 修 行 事 費	2,100,000	2,100,000	0	●全学的に行うフレッシュマンキャンプに係わる援助
運営費	8,150,000	4,238,009	3,911,991	
11.事 務 費	1,600,000	1,588,852	11,148	●アルバイト代、事務委託費、消耗品費
12.会 議 費	1,500,000	1,209,762	290,238	●役員会、評議員会
13.印 刷 ・ 通 信 費	2,300,000	373,280	1,926,720	●通知、案内の郵送、印刷代
14.旅 費 ・ 交 通 費	1,200,000	923,210	276,790	●地方評議員、役員の旅費
15.備 品 費	1,500,000	134,400	1,365,600	●後援会関係の備品、什器
16.雑 費	50,000	8,505	41,495	●振込手数料等
予 備 費	700,000	2,279,900	△1,579,900	●横浜キャンパス開学記念モニュメント制作費等
特別会計	25,800,000	25,800,000	0	
17.後 援 会 基 本 積 立	22,300,000	22,300,000	0	●将来の事業拡大のため
18.記 念 事 業 費 積 立	2,000,000	2,000,000	0	●大学創立記念事業協力
19.学 生 事 故 対 策 援 助 費 積 立	0	0	0	●学生事故対策として500万円まで積立完了
20.特 別 課 外 活 動 援 助 費 積 立	1,500,000	1,500,000	0	●大規模な対外遠征援助500万円まで積立
小 計	75,650,000	67,389,521	8,260,479	
次 年 度 繰 越 金	1,226,164	10,818,193	△9,592,029	
支出の合計	76,876,164	78,207,714	—	

●正課外教育援助費内訳

科 目	平成9年度予算	平成9年度決算	差 異	備 考
正課外教育援助費	26,000,000 ^(円)	21,685,268 ^(円)	4,314,732 ^(円)	
課外活動援助費	24,400,000	20,171,560	4,228,440	
(イ)学団連援助金	(12,000,000)	(12,000,000)	(0)	●学団連本部、体育会・文化団体連合会本部、MIT祭実行委員会、吹奏楽団、放送会、新聞会
(ロ)一般援助金	(10,000,000)	(6,246,860)	(3,753,140)	●課外研究、対外活動、情報活動、環境向上運動、用具整備、特別企画、地域活動
(ハ)学生行事援助金	(1,500,000)	(1,024,700)	(475,300)	●スプリングフェスティバル、水泳大会、ソフトボール大会、ミュージックフェスティバル等
(ニ)団体強化援助金	(900,000)	(900,000)	(0)	●強化指定団体
学 生 顕 彰 費	600,000	604,700	△4,700	●ボランティア表彰、課外活動奨励賞、後援会長賞等
学 生 生 活 指 導 費	1,000,000	909,008	90,992	●リーダー教育、救命法講習会受講料援助等

【1】事業

1. 正課外教育援助

学生の課外活動のより活性化をはかるため、学生団体及び学生行事等に対して援助を行う。

■課外活動援助

「課外活動に対する補助制度」による補助を行う。

- 学生団体連合会へ課外活動の援助金を支給。
- 学生団体連合会へ準加盟の同好会及び学科研究会の連合団体へ組織運営のための援助金を支給。
- *以下の2項目については、援助希望団体(個人)の申請に基づき、大学学生部の意見を受けて援助を行う。

- 「課外活動に対する補助制度」による一般援助
課外研究、対外活動、環境向上活動、情報活動、用具整備、特別企画、地域活動、活動奨励等のための援助

●学生行事への援助

スプリング・フェスティバル、ミュージック・フェスティバル、MI-Techテニストーナメント、水泳大会、公開企画、特別行事等に対する援助

●強化団体指定による援助

関東リーグ相当クラスの上位リーグで活躍する団体に対して、チーム強化のための援助を行う。(関東リーグ3部以上相当：関東ランキング24位前後以上を目安)

■学生顕彰

- 課外活動賞のうち、課外活動奨励賞を与える。
- 学位授与式(卒業式)において、課外活動に貢献した学生約20名に「後援会会長賞」をあたえる。

■学生生活指導

- 学生の生活指導に対する援助。

(リーダーズ研修会、救急救命法講習会の受講、外国人留学生を含む国際交流活動などの費用と援助)

2. 「大学と父母との連絡会」の開催

- 大学と共催し、全国各地において「大学と父母との連絡会」を開催する。今年度は、本学会場(世田谷キャンパス・横浜キャンパス)を含め28会場で開催する。本学会場は、平成10年9月26日(土)を予定。

3. 「役員・評議員と大学教職員との懇談会」の開催

- 今年度が後援会創設10周年の年であることから、

平成10年5月23日(土)の評議員会終了後の懇談会を記念祝賀会に代え、大学教職員と後援会の現役及び歴代役員等が出席、開催された。

4. 大学行事への協力

- 大学及び学生が主催する大学行事、企画への援助協力。(体育祭、MI-TECH祭、MI-TECH横浜祭)

5. 学生厚生援助

- 学生の厚生施設・設備充実のための援助。(学生利用施設)

6. 緊急奨学金の貸与

- 会員の家計の急変により学業の継続が困難な学生に対し、授業料相当額(全額又は半額)を貸与。

7. 会報の発行

- 後援会の会報誌「Mi-Com」を年2回発行し、学内の動きを父母に連絡するとともに、誌面を通して会員相互の親睦をはかる。

8. 新入生研修行事(フレッシュマン・キャンプ)への援助

- 毎年4月に実施する新入生対象のフレッシュマン・キャンプへの援助。

【2】運営

1. 会議

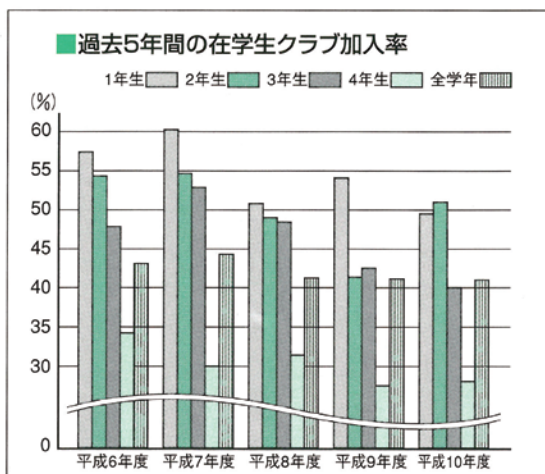
理事会2回 平成10年5月9日(土)

平成10年11月21日(土)予定

評議員会1回 平成10年5月23日(土)

2. 後援会の業務を担当する事務担当者(アルバイト)の採用

(期間 平成10年4月1日～平成11年3月31日)



平成10年度 予算

平成10年5月24日現在

科 目	平成10年度予算	備 考
(収 入 の 部)	(円)	
1. 会 費	49,900,000	●新入生の加入者
2. 雑 収 入	600,000	●利息収入
3. 前 年 度 繰 越 金	10,818,193	
収 入 の 合 計	61,318,193	
(支 出 の 部)		
事 業 費	46,360,000	
4. 正 課 外 教 育 援 助 費	27,860,000	※下表の「正課外教育援助費内訳」を参照
5. 父 母 連 絡 会 費	3,400,000	●全国各地で年1回大学と共催
6. 大 学 行 事 協 力 費	2,000,000	●体育祭、MI-TECH祭(学園祭)等
7. 学 生 厚 生 援 助 費	5,000,000	●厚生設備等への援助(9号館・18号館等)
8. 奨 学 資 金 費	3,000,000	●緊急奨学金
9. 会 報 発 行 費	3,000,000	●後援会広報誌の作成(2回)
10. 新 入 生 研 修 行 事 費	2,100,000	●全学的に行うフレッシュマンキャンプに係わる援助
運 営 費	5,880,000	
11. 事 務 費	1,600,000	●アルバイト代、事務委託費、消耗品費
12. 会 議 費	1,500,000	●理事会、評議員会
13. 印 刷 ・ 通 信 費	800,000	●通知、案内の郵送、印刷代
14. 旅 費 ・ 交 通 費	1,200,000	●地方評議員、役員の旅費
15. 備 品 費	750,000	●後援会関係の備品、什器
16. 雑 費	30,000	●振込手数料等
予 備 費	1,500,000	
特 別 会 計	6,300,000	
17. 後 援 会 基 本 積 立	4,300,000	●将来の事業拡大のため
18. 記 念 事 業 費 積 立	2,000,000	●大学創立記念事業協力
19. 学 生 事 故 対 策 援 助 費 積 立	0	●学生事故対策として500万円まで積立完了
20. 特 別 課 外 活 動 援 助 費 積 立	0	●大規模な対外遠征援助500万円まで積立完了
小 計	60,040,000	
次 年 度 繰 越 金	1,278,193	
支 出 の 合 計	61,318,193	

●正課外教育援助費内訳

科 目	平成10年度予算	援 助 対 象
正 課 外 教 育 援 助 費	27,860,000 (円)	●(ア)(イ)(ウ)(エ)は「課外活動に対する補助制度」の費用、(オ)は強化指定団体制度により運用
課 外 活 動 援 助 費	26,460,000	●学団連本部、体育会・文化団体連合会本部、吹奏楽団、放送会、新聞会、MFA
(ア)学 団 連 援 助 費	(12,000,000)	●学団連準加盟の同好会及び学科研究会の連合各団体
(イ)同好会・学科研究会援助費	(810,000)	
(ウ)一 般 援 助 金	(10,000,000)	●課外研究、対外活動、情報活動、環境向上運動、用具整備、特別企画、地域活動
(エ)学 生 行 事 援 助 金	(2,750,000)	●水泳大会、Mi-Techテニストーナメント大会、ミュージックフェスティバル等
(オ)団 体 強 化 援 助 金	(900,000)	●強化指定団体
学 生 顕 彰 費	600,000	●ボランティア表彰、課外活動奨励賞、後援会長賞等
学 生 生 活 指 導 援 助 費	800,000	●リーダー教育、救命法講習会受講料援助、学生の国際交流指導、ボランティア育成等

役員 (敬称略)

会 長	黒 崎	浩	機 械(再)	理 事	藤 井 道 也	機械システム(新)
副 会 長	五 艘	章	土 木(再)	理 事	三宅 ヨシノリ	電気電子(新)
副 会 長	横 山 和 雄	経 営(再)		理 事	山 田 亨	電子通信(新)
理 事	菱 沼 紀 昭	機 械(再)		理 事	小 林 昭 夫	電子情報(新)
理 事	平 柳 健	電子通信(再)		理 事	安 部 實	建 築(新)
理 事	潮 惠 次	電子通信(再)		理 事	木 村 憲 司	土 木(新)
理 事	谷 口 正 克	機 械(再)		理 事	名 畑 博 之	経 営(新)
理 事	落 合 悟	電気電子(再)		理 事	北 村 義 次	エネルギー基礎(新)
理 事	橋 本 慶 隆	電子通信(再)		理 事	豊 田 喜 夫	環境情報(新)
理 事	小 島 岩 男	土 木(再)		会計監査	高 橋 佑 太 郎	電気電子(再)
理 事	後 藤 克 彦	土 木(再)		会計監査	原 田 晴 祥	建 築(再)
理 事	黒 須 征 男	経 営(再)			
理 事	鈴 木 誠 治	機 械(新)		顧 問	古 浜 庄 一	学 長
理 事	鎗 居 秀 禎	機 械(新)		顧 問	中 添 淳	教 授

評 議 員 (敬称略)

後 藤 正 昭	兵庫県	電気電子(再)	花 村 嘉 彦	東京都	機 械(再)	村 田 統 治	東京都	機 械(新)
濱 田 恵 亮	宮崎県	建 築(再)	河 西 英 雄	神奈川県	電気電子(再)	加 部 祥 司	神奈川県	機 械(新)
山 下 浩 之	栃木県	電気電子(再)	四 方 英 雄	千葉県	電気電子(再)	箱 崎 正 夫	茨城県	機械システム(新)
伊 藤 穆	兵庫県	電子通信(再)	中 村 平 一 郎	神奈川県	電気電子(再)	宮 崎 和 明	神奈川県	機械システム(新)
久 保 内 操	高知県	建 築(再)	桜 井 武	神奈川県	電子通信(再)	森 岡 隆 行	茨城県	電気電子(新)
工 藤 公 健	北海道	土 木(再)	森 元	富山県	電子通信(再)	森 下 圭 太	静岡県	電気電子(新)
梅 原 二 郎	京都府	機 械(再)	新 居 千 秋	東京都	建 築(再)	伊 藤 誠 一	東京都	電子通信(新)
国 岡 克 匡	神奈川県	機 械(再)	三 高 正 明	静岡県	建 築(再)	江 本 豊 海	神奈川県	電子通信(新)
池 田 外 余 光	神奈川県	機 械(再)	中 本 清	沖縄県	建 築(再)	藤 田 豊 比 古	神奈川県	電子通信(新)
三 木 浩	徳島県	機 械(再)	前 田 房 夫	神奈川県	建 築(再)	齊 藤 俊 幸	神奈川県	電子情報(新)
鴨 川 隆 彦	福岡県	機 械(再)	高 波 謙 二	長野県	経 営(再)	西 村 和 明	東京都	電子情報(新)
小 牧 明 彦	大阪府	機 械(再)	多 胡 護	香川県	機 械(再)	漆 原 道 生	神奈川県	建 築(新)
谷 公 士	東京都	電気電子(再)	大 石 隆 重	埼玉県	機械システム(再)	木 本 敏	大分県	建 築(新)
波 藤 雅 俊	東京都	電気電子(再)	南 山 外 喜 男	石川県	機械システム(再)	塚 谷 清 博	石川県	土 木(新)
野 中 干 城	山梨県	電子通信(再)	一 柳 泰 義	香川県	電気電子(再)	堀 江 正 直	東京都	土 木(新)
小 草 伸 春	島根県	建 築(再)	豊 田 宣 臣	千葉県	電子通信(再)	打 本 幸 雄	石川県	経 営(新)
佐 川 保 博	福島県	土 木(再)	柳 澤 文 夫	長野県	電子通信(再)	原 澤 孝 夫	東京都	経 営(新)
谷 川 豊	兵庫県	土 木(再)	大 津 優	東京都	電子情報(再)	和 田 一 男	埼玉県	経 営(新)
林 春 子	東京都	土 木(再)	内 田 知 行	熊本県	電子情報(再)	谷 口 育 生	埼玉県	エネルギー基礎(新)
北 川 晴 一	岐阜県	経 営(再)	堀 田 正	新潟県	建 築(再)	中 西 俊 介	東京都	エネルギー基礎(新)
長 瀬 健	神奈川県	経 営(再)	北 本 正 義	広島県	土 木(再)	長 谷 川 福 太 郎	宮城県	エネルギー基礎(新)
山 本 専 一	東京都	経 営(再)	遠 山 智 一	埼玉県	土 木(再)	浅 野 長 利	神奈川県	環境情報(新)
島 田 亜 雄	群馬県	経 営(再)	三 宅 基 夫	神奈川県	経 営(再)	中 江 和 彦	東京都	環境情報(新)
小 林 武 弘	神奈川県	機 械(再)	大 内 康 行	神奈川県	環境情報(再)	中 山 安 男	神奈川県	環境情報(新)
中 村 敏 雄	神奈川県	機 械(再)	岡 部 正 彦	東京都	環境情報(再)	濱 田 陽 敏	神奈川県	環境情報(新)

平成9年度「課外活動に対する補助」による援助

後援会の事業の一つに「課外活動に対する補助制度」があります。これは学生が自主的な財源確保の努力をしつつも補助を受けることにより、特色ある活動や、より高レベルの活動が可能となり、キャンパスライフの充実に貢献することを期待して設けられているものです。

■学生団体連合会への補助

平成9年度学生団体連合会への援助金として12,000,000円を補助(学生代表者:塩川功/顧問:海老原大樹)

■一般補助 第1回分

団体名	学生代表者	補助内容	援助額(円)
体育会本部	小松 傑	体育祭及び水泳大会における参加者の移動用臨時バス運行に対して	50,000
グリークラブ	秋元 崇	平成9年度武蔵野市民芸術文化協会公演「薫風フェスタ」への出演経費の一部補助について	10,000
ラジオクラブ	岡崎 譲	ハムフェア'97への出展参加に対して	70,000
空手道部	薩川 宣昭	第45回東都六工大空手道選手権大会の幹事大学としての運営費の一部補助として	100,000
天文研究会	新庄 亮哉	プラネタリウムの改善補修費用の一部補助に対して	155,000
環境問題研究会	林田 全弘	会の基礎づくりのための情報収集費として	10,500
(個人)カヌー(特別団体)	星 栄介	国内主要大会への出場経費に対して	400,000
(個人)空手道部	神山 千寿	国際松濤館空手道連盟第6回世界大会の出場経費の一部補助として	100,000
(個人)空手道部	鈴木 孔明	国際松濤館空手道連盟第6回世界大会の出場経費の一部補助として	100,000
合 計	6団体3個人	9件	995,500

■一般補助 第2回分

団体名	学生代表者	補助内容	援助額(円)
体育会本部	小松 傑	MI-Tech横浜祭のステージ企画のうち、特別企画相当額の費用分として	1,400,000
文化団体連合会	石井 知之	他の上部団体及び傘下団体への情報提供・傘下団体統括業務・行事準備運営等に利用する為の機器購入費用として	320,000
新聞会	猪狩 茂則	ネットワーク対応の端末機器購入費用として	260,000
ラジオクラブ	岡崎 譲	第18回全市全都コンテストに参加するための機器購入代として	70,000
鉄道研究部	平山 公人	電車とバスの博物館:Nゲージ模型運転会参加の車両等の破損及び消耗物品の修理・補充費用として	80,000
弓道部	堀河 宏明	第27回全関東学生弓道選手権大会における三五大輔君の活躍(決勝進出)に対して(個人 三五大輔君へ)	10,000
		関東理工系大学定期戦における活躍に対して(団体3位)	30,000
		〃 (個人優勝 堀河宏明君へ)	10,000
空手道部	薩川 宣昭	第45回東都六工大空手道選手権大会における活躍に対して(団体2位・団体組手2位)	50,000
		第17回全国空手道選手権大会における活躍に対して(個人優勝 鈴木孔明君・神山千寿さんへ)	20,000
バスケットボール部	蟻川 洋祐	関東理工系大学リーグ戦2部優勝1部昇格に対して	100,000
バドミントン部 バドミントン:女子部	高野 大輔	関東学生バドミントン選手権における活躍に対して(個人優勝 高野大輔君へ)	10,000
		関東学生バドミントン秋季リーグ戦男子4部リーグ優勝	100,000
		関東学生バドミントン春季5部リーグ優勝4部昇格及び秋季リーグ戦女子4部リーグで準優勝に対して	100,000
ラグビー部	小熊 忍	関東大学理工系リーグ戦における全勝優勝に対して	100,000
水泳部	山本 博徳	山本博徳君のインカレ出場経費及び応援者への一部補助として	70,000
		大会(泳光戦)運営校としての運営経費として	30,000
アイスホッケー部	高柳 哲	関東大学アイスホッケー選手権大会第3位入賞に対して	30,000
		東京都理工系リーグ戦優勝に対して	100,000
		練習施設(リンク)使用料の一部補助として	340,000
スキー部	野崎 智弘	保険加入費及び連盟加盟費等の一部補助として	110,000
ヨット部	中山竜太郎	平成9年度ヨット試乗会運営費の一部補助として	50,000
機親会	若松 竜太	日本機械学会創立100周年記念ロボットグランプリでの活躍(117台中ベスト8)に対して	100,000
合 計	16団体5個人	23件	3,490,000



CAMPUS
LIFE

■一般補助 第3回分

団 体 名	学生代表者	補 助 内 容	援助額(円)
新聞会	小坂橋真盛	ラグビー部全国大会の取材費用の一部として	45,360
鉄道研究部	竹嶋 渉	機関紙「スチールカー学祭号」の制作費の一部として	50,000
写真部	渡邊 修吾	学生食堂における写真展示活動に対して	20,000
剣道部	滝沢 俊一	第31回関東理工科系剣道新人戦・個人戦大会において好成績をおさめた	35,000
空手道部	斉藤 直樹	第10回全日本理工科系大学空手道選手権大会で好成績をおさめたので、その参加費として	45,000
小林寺拳法部	山本 成昭	特別昇段考試にて部員(高瀬誠司君)が4段に合格したことに対して	50,000
		第47回世田谷区民体育大会小林寺拳法大会において好成績をおさめた	20,000
バスケットボール部	蟻川 洋祐	関東学生男子バスケットボールリーグ戦において5部昇格を果たした	100,000
		大阪工業大学定期戦(今年度は大阪で開催)の費用の一部として	30,000
バドミントン部	星野 亨	理工系大会において好成績をおさめた	40,000
洋弓部	市川 直幸	理工系定期戦・新人戦の主催校(幹事校)として運営するための運営費の一部として	50,000
ラグビー部	小熊 忍	全国地区対抗ラグビーフットボール大会出場のため出場経費の一部として	675,000
アメリカンフットボール部	鈴木 秀和	リーグ戦の遠征費及び会場使用料・器具修理代等	150,000
		第1回関東TECHTーナメント大会優勝に対して	100,000
スキー部	野崎 智弘	女子部員入部による連盟負担金の一部として	55,000
ゴルフ部	石井 雄二	来年度の練習費用の一部として	50,000
ワンダーフォーゲル部	高橋 義典	関東学生ワンダーフォーゲル連盟リーダー講習会の参加費として	36,000
環境問題研究会	林田 全弘	第1回MI-Tech横浜祭における皿洗いディボジットシステムの研究と導入に対して	80,000
キッカーズ	中村晋太郎	大会(LAKE YAMANAKA CAP)参加に関わる費用の一部として	30,000
機親会	若松 竜太	ホンダエコノパワー燃費競技全国大会において好成績をおさめた	100,000
合 計	17団体	20件	1,761,360

●平成9年度「後援会長賞」受賞者

氏 名	所属クラブ	進 路 先
内田 則夫 (機 械)	平成8年度 学生団体連合会 執行委員長	武蔵工業大学大学院
岡本 栄介 (機 械)	自動車部 主将	ボッシ(株)
大迫健一郎 (機 械)	剣道部 主将	(株)類設計室
川野 泰司 (機 械)	硬式庭球部 主将	昭和フロント(株)
小熊 忍 (電気電子)	ラグビー部 主将	秋田ミツミ(株)
小菅 理香 (電気電子)	弓道部	(株)日立マイコンシステム
岡崎 譲 (電子通信)	ラジオクラブ 部長	武蔵工業大学大学院
川部 庸司 (電子通信)	バレーボール部 主将	キャノン電子(株)
内田 京助 (建 築)	柔道部 主将	トステム(株)
河合 伸哉 (建 築)	バドミントン部 主将	旭化成ホームズ(株)
鈴木 英二 (建 築)	スキー部 主将	(株)長谷工コーポレーション

氏 名	所属クラブ	進 路 先
今川 将秀 (土 木)	体育会 会長 少林寺拳法部 主将	鹿島建設(株)
井上 雄城 (土 木)	グリークラブ 部長	構造計画コンサルタント(株)
関田 竜典 (土 木)	アメリカンフットボール部 主将	(株)フジタ
高柳 哲 (土 木)	アイスホッケー部 主将	日建設計中瀬土質研究所
大木 吉浩 (経 営)	文化団体連合会 本部長	武蔵工業大学大学院
薩川 宣昭 (経 営)	空手道部 主将	武蔵工業大学大学院
林 雅基 (経 営)	硬式野球部 主将	シナノケンシ(株)
星 栄介 (経 営)	特別団体カヌー	エフソン販売(株)
松田 裕介 (経 営)	新聞会 会長	北海道教員
松本 一朗 (経 営)	平成7年度 学生団体連合会 執行委員長	テックエンジニアリング(株)

平成10年度「大学と父母との連絡会」のお知らせ

——全国28ヶ所で開催——

後援会と大学の共催により平成10年度「大学と父母との連絡会」を下記の28会場で開催します。大学側から教職員の方が出席され、教育方針や現況等について説明していただくと共に、在学する子弟の修学および学生生活上の諸問題について懇談することを目的としております。奮ってご出席ください。

■平成10年度「大学と父母との連絡会日程および会場」

開催地	開催日	開催時間	会場と所在地（電話番号）	備 考
札幌市	9月5日（土）	9:30～12:00	札幌グランドホテル 札幌市中央区北一条西4丁目（011-261-3311）	
函館市	9月6日（日）	9:30～12:00	函館ハーバービューホテル 函館市若松町14-10（0138-22-0111）	
秋田市	9月4日（金）	10:00～12:00	秋田ビューホテル 秋田市中通2-6-1（0188-32-1111）	
仙台市	9月5日（土）	10:00～12:00	ホテルサンルート仙台 3階「菊」 仙台市青葉区中央4-10-8（022-262-2323）	
郡山市	9月6日（日）	10:00～12:00	チサンホテル郡山 新館2階「磐梯A」 郡山市駅前1-8-18（0249-23-6711）	
水戸市	9月12日（土）	10:00～12:00	ホテルシーズン 水戸市桜川1-9-6（029-227-0008）	
宇都宮市	9月13日（日）	10:00～12:00	宇都宮ステーションホテル 宇都宮市駅前通り2-1-8（028-637-0111）	
東京	9月26日（土）	学内見学希望 10:15～ 見学未希望 12:00～	武蔵工業大学 工学部 東京都世田谷区玉堤1-28-1（03-3703-3111）	学内見学の希望・未希望により集合時間が異なります 終了時間は個人面談希望者以外は15時00分くらいになります
横浜	9月26日（土）	10:30～14:00	武蔵工業大学 環境情報学部 横浜市都筑区牛久保西3-3-1（045-910-2500）	
高崎市	9月6日（日）	10:00～12:00	ホテルメトロポリタン高崎 高崎市八島町222（0273-25-3311）	
新潟市	9月5日（土）	10:00～12:00	ホテルディアモント新潟 新潟市本町通六番町1099（025-223-1122）	
甲府市	9月12日（土）	9:30～12:00	古名屋ホテル「錦」 甲府市中央1-7-5（0552-35-1122）	
長野市	9月13日（日）	9:30～12:00	ホテルナガノアベニュー「クリスタルルーム」 長野市南千歳2-8-5（026-223-1123）	
静岡市	8月29日（土）	(午前の部)10:00～12:00 (午後の部)14:00～16:00	小田急ホテルセンチュリー静岡 4階「フリージア」 静岡市南町18-1（054-284-0111）	
浜松市	8月30日（日）	10:00～12:00	浜松名鉄ホテル 3階「竹の間」 浜松市板屋町110番地（053-452-5111）	
富山市	9月5日（土）	10:00～12:30	第一イン富山 11階「立山・剣」 富山市桜町1-1-1（0764-42-6611）	
金沢市	9月6日（日）	10:00～12:30	金沢東急ホテル 5階「兼六の間」 金沢市香林坊2-1-1（0762-31-2411）	
名古屋	9月5日（土）	9:30～12:00	ホテルアソシア名古屋ターミナル 8階「桐の間」 名古屋市中村区名駅1-1-2（052-562-0213）	
大阪市	9月6日（日）	9:30～12:00	大阪第一ホテル 6階「桂 I」 大阪市北区梅田1-9-20（06-346-0007）	
高松市	8月29日（土）	10:00～12:00	高松東急イン 3階「玉藻の間」 高松市兵庫町9番地9（0878-21-0109）	
高知市	8月30日（日）	10:00～12:00	ホテルサンルート高知 3階「芙蓉の間」 高知市北本町1-1-28（0888-23-1311）	
岡山市	8月29日（土）	10:30～13:00	ホテルニューオカヤマ「唯心Cの間」 岡山市駅前1-1-25（086-223-8211）	食事会方式となりますので、当日食事代として2000円を徴収させていただきます
広島市	8月30日（日）	10:30～13:00	広島ガーデンパレス「白鳥の間」 広島市東区光町1-15（082-262-1122）	食事会方式となりますので、当日食事代として2000円を徴収させていただきます
小郡町	8月29日（土）	9:30～12:00	山口グランドホテル 吉敷郡小郡町黄金町1-1（0839-72-7777）	
福岡市	8月30日（日）	9:30～12:00	ホテルステーションプラザ 福岡市博多区博多駅前2-1（092-431-1211）	
大分市	8月29日（土）	10:00～12:00	大分第一ホテル 大分市府内町1-1-1（0975-36-1388）	
宮崎市	8月30日（日）	10:00～12:00	宮崎観光ホテル 宮崎市松山1-1-1（0985-27-1212）	
那覇市	7月12日（日）	10:00～12:00	ホテルニューおきなわ 那覇市松尾1-4-5（098-867-7200）	